

<臨床研究リスク管理研究会主催セミナー>

韓国と日本の IRB/倫理審査における「一般の立場」の委員の役割と経験  
～市民・社会・患者を代表して審議・採決に参加する～

日時：2018年10月22日（月）15：15～18：00（開場14：45）

場所：MS & ADインターリスク総研株式会社 本社 10 階会議室

地図：[http://www.irric.co.jp/corporate/index\\_03.php](http://www.irric.co.jp/corporate/index_03.php)

定員：50名

#### ◆開催趣旨

研究を審査する委員会（Institutional Review Board：IRB、倫理審査委員会）の最も重要な責務は、研究の対象者を保護することです。そのためには、医学・医療の専門家だけではなく、一般の立場を代表する委員、研究実施施設に所属しない外部委員が参加すること、男女両性であることなどが求められているように、多様な視点からの審査が行える委員構成であることが、世界中どこでも標準的な要件となっています。中でも特に、「一般の立場を代表する委員」は、説明文書が患者にとってわかりやすい記載になっているかどうか、研究の目的や方法が本当に患者・社会にとって役立つ知識を生み出そうとしているものか、社会常識的な視点からみて疑問がないか、などをチェックする重要な役割を担っています。

今回、米国の研究対象者保護プログラム認証協会（AAHRPP）の認証を韓国で初めて取得したサムソン医療センターの IRB で、一般の立場の委員として優れた参画をされてきたことによる褒賞として来日される Yoo Seong Hwa さん（2003 年より IRB 委員）に、韓国の IRB での一般委員としての経験についてお話しいただく機会を設けました。

この貴重な機会に、日本の倫理審査委員会/IRB でも一般委員として豊富な経験を持ち活躍する「一般社団法人 マイインフォームド・コンセント」理事長の佐伯晴子さんをお招きして発表いただき、日本と韓国の共通点や違いについても議論しつつ、「一般の立場」の委員が審議に参加し、より適切な結論を導くための課題と展望について話し合えたらと思います。

（韓国からの発表は韓国語ですが、日本語通訳が付きます。）

#### ◆講演

##### 1) 韓国 IRB 「一般の立場」の委員の役割と経験

講演：Ms. Yoo Seong Hwa Art & Company

韓国三星（サムソン）ソウル病院 IRB 委員

通訳：Rhee Younjin, 韓国三星（サムソン）ソウル病院 被験者保護監督室

##### 2) 日本の倫理審査委員会「一般の立場」の委員の役割と経験

講演：佐伯晴子「一般社団法人 マイインフォームド・コンセント」理事長

参考：<http://myinformedconsent.jp/>

主催：臨床研究リスク管理研究会 共催：株式会社臨床評価刊行会

協力：三井住友海上火災保険株式会社

#### ★お申込み先（WEB 申込み）

臨床研究リスク管理研究会事務局（MS & ADインターリスク総研株式会社）

下記申込みページよりお申し込みください。

<https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/892>

以上